

～地域をきれいに保つ陰の立役者～ 板倉町生活環境推進員

生活環境推進員は、各行政区から選出されたボランティアです。
町全体では117人が町長から委嘱され、ごみの減量と快適な生活環境の保全を図るべく、各行政区の実情に応じて活動しています。
主な役割は、地域の清掃活動の実施やごみステーションの清掃、ごみの分別指導等です。
清潔で快適な暮らしは、生活環境推進員が支えています！

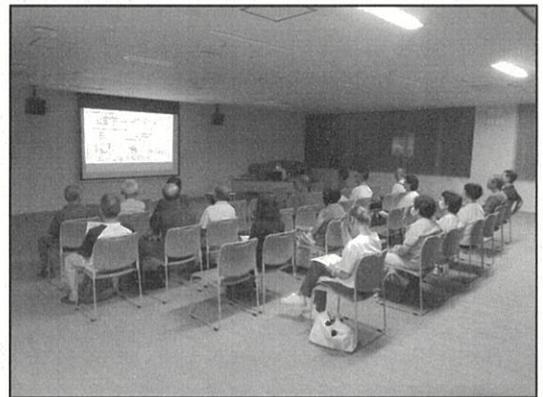


令和7年度の主な活動をご紹介します！

■地区別研修会

例年、定期総会時に全体研修会を行っていましたが、今年度は、町内を東西南北の4地区に分けて研修会を行いました。少人数での研修は、生活環境に関する率直な意見交換の場とすることができました。研修会では、町のごみ処理の現状や減量化に向けた取り組みなどを学びました。

参加者からは、リチウムイオン電池に起因すると考えられる火災が心配だとの意見が出されました。また、フードドライブや普段の活動に関して質疑応答が行われ、活動の意義や役割の大切さについて理解を深めました。

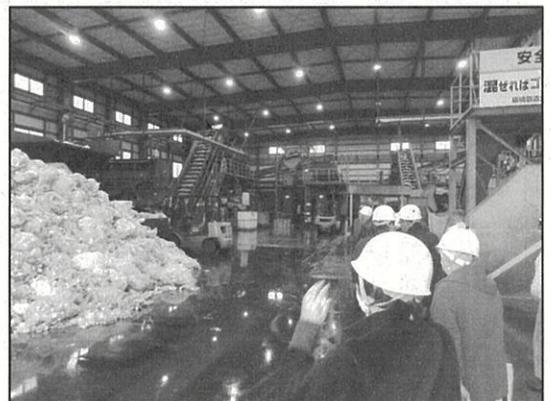


■ごみ処理施設の視察研修

12月にペットボトルの再生利用について、処理施設の視察研修を行いました。

はじめに、ウム・ヴェルト(株)(埼玉県加須市)を訪問し、ペットボトルを再生利用するための分別作業や洗浄の工程を見学しました。次に、(株)エフピコ(茨城県八千代町)にて、ペットボトルを原材料とした容器を製造する工程を見学しました。

私たちが普段出しているペットボトルが、再利用されている様子を見ることができ、分別する意識の向上につながりました。



■フードドライブの実施

フードドライブとは、家庭で余っている食べ物を持ち寄り、それらをまとめて団体やフードバンクに寄贈することで、福祉施設や生活困窮者に無償提供する取り組みです。

8月の板倉まつりと10月の福祉まつりでフードドライブを実施し、多くの方のご理解とご協力をいただきました。フードドライブを実施したことで、廃棄されてしまう可能性の高かった食品を、必要とするかたに提供することができ、食品ロスの削減につなげることができました。





令和7年度から始めた新しい取り組みをご紹介します！

■ イベントにおけるごみステーション 設置

10月の町民体育祭と福祉まつりにおいて、来場者が出したごみを回収するごみステーションを設置しました。町のルールに従い、細かく分別し、スタッフ常駐の「分別ステーション」を設置して来場者に案内・分別を促しました。

今後、イベント以外（家庭・事業所）でも分別の意識を高めてもらうことで、資源の有効活用やごみ処理コストの削減、環境負荷の低減につながります。



■ 環境にやさしい買い物スタイル 啓発活動

11月に、フレッシュ板倉店で啓発活動を行いました。「環境にやさしい買い物スタイル」とは、環境への負荷をできるだけ少なくすることを考えて買い物をする事です。具体的には「マイバッグを持参する」「必要なものを必要なだけ購入する」「簡易包装の商品を選ぶ」「賞味期限の近いものを選ぶ」などです。当日は、店頭にてチラシや啓発グッズを配布し、環境にやさしい買い物を呼びかけました。



■ 6区、7区による外国人技能実習生 との合同清掃活動

11月の町内一斉清掃活動「クリーン運動の日」では、(株)イトアンドフーズと富士食品工業(株)に協力を要請して、地域に住む外国人技能実習生と行政区が一緒に清掃活動を行いました。外国人にごみ出しのルールなどを知ってもらい、住民との交流を図る機会を提供することができました。外国人との清掃活動は、今後も継続していきたいと思えます。



みなさんにお願ひ！

ごみは生活のうえで必ず出るものであり、誰にとっても身近な存在です。だからこそ、みなさんが少しでも意識をしてごみ出しをすることで、ごみは減り、町をきれいに保つことができます。

引き続き、みなさんのご協力をよろしくお願ひします！

作 成：板倉町生活環境推進協議会
お問い合わせ：板倉町役場住民環境課 環境下水道係
電話：82-6132